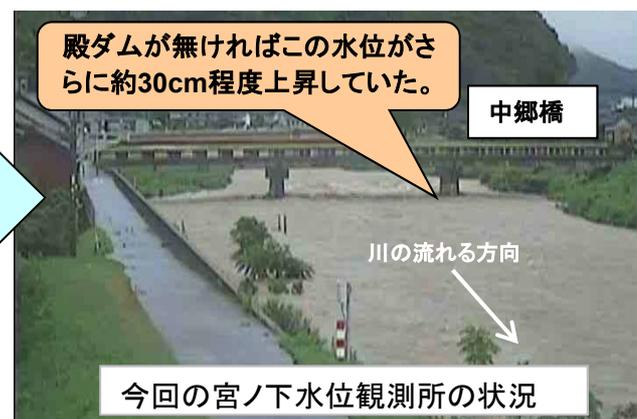
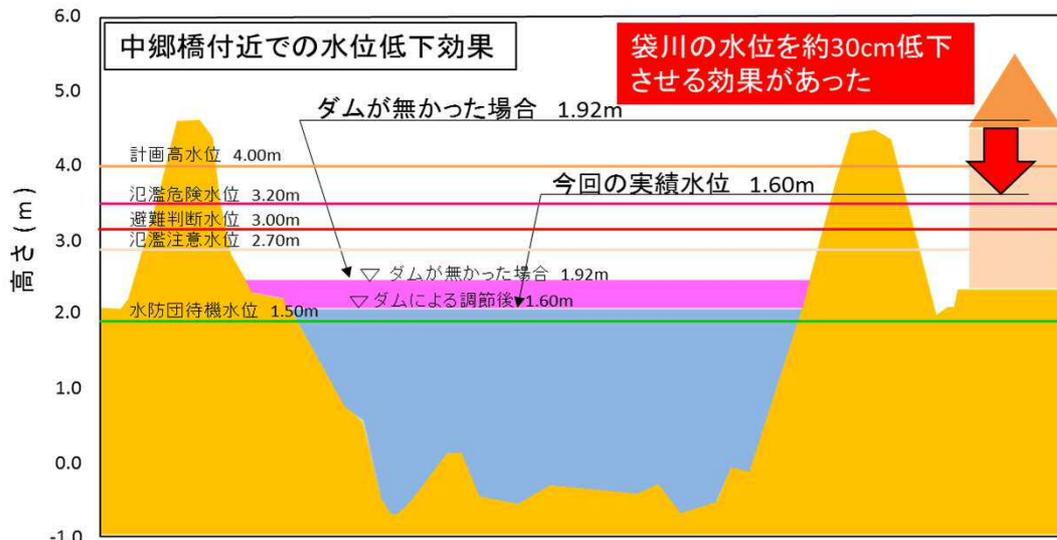


# 殿ダムの防災操作による治水効果(平成30年7月豪雨)【速報】

- 平成30年7月5日から梅雨前線による豪雨によって、袋川で洪水が発生。
- 殿ダム流域では、7月5日から7日にかけて累計で360mmの大雨となった。
- 殿ダムへの最大流入量は毎秒83m<sup>3</sup>であり、そのうち毎秒74m<sup>3</sup>をダムに貯留。
- 今回の雨により殿ダムが貯めた洪水の量の合計は約1,52万m<sup>3</sup>。
- 殿ダムによる防災操作で、袋川中郷橋付近(ダム下流約10km、鳥取市国府町宮ノ下小学校付近)では、ピーク水位を約30cm低下出来たものと推定される。



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。